

# 平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		国際交流の推進				整理番号	120	枝番号		
担当部課名	区民生活部文化・交流課	コード	051201	連絡先電話番号	2283	昨年度整理番号	121			
係名		上位施策名				No				
予算事業名	文化・交流の推進	コード	12050	No				68		
事務事業の概要	事業開始年度	○ 昭和 ● 平成		2 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等						
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(1) 杉並区・ウイロピー市友好協定 (2) 杉並区・瑞草区友好協定 (3)						
	区内在住・在学・在勤									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	友好都市(オーストラリア・ウイロピー市、大韓民国ソウル特別市瑞草区)等の代表団や親善訪問団の派遣や受け入れを行う。他課・他団体が友好都市等と交流事業を行う際、連絡調整を行う。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 杉並区民等が、文化・スポーツをはじめさまざまな分野で、友好都市等の住民と交流する機会が増える。						
活動指標名(式)			成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標							
	(1) 友好都市訪問者数・来訪者数		(1) 友好都市との交流事業参加者数							
	(2) 友好都市との交流機会提供数		(2) 国際交流事業参加者数							
区分	単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%		
				計画	実績					
指標	活動指標(1)	人	102	66	22	68	31	60	113.3	
	活動指標(2)	回	4	3	3	4	3	4	100.0	
	成果指標(1)	人	192	146	400	68	650	500	13.6	
	成果指標(2)	人	6,715	3,735	7,000	2,565	3,000	10,000	25.7	
総事業費・コスト把握	事業費	千円	1,152	3,841	5,598	3,541	9,000	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 他課・他団体の事業を含む。		
	(内)委託費	千円								
	職員数(常勤   非常勤)	人	1.61	0.95	1.00	1.10	1.00			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	14,624	8,544	9,100	10,010			9,100
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0			0
	総事業費 ++	千円	15,776	12,385	14,698	13,551	18,100			
	単位あたりコスト ÷	円	154,667	187,652	668,091	199,279	583,871			
	財源	受益者負担分	千円							
		国・都等からの支出金	千円							
		特定財源計 +	千円	0	0	0	0			0
差引:一般財源 -		千円	15,776	12,385	14,698	13,551	18,100			
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の16年度達成率%		309.1	活動指標(2)の16年度達成率%	133.3	16年度予算執行率%	63.3			
	訪問者・来訪者数は予想より増加したが、予算の執行を必要としないものが多かったため、執行率が低かった。									
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	・友好都市紹介リーフレットを作成し、新しい情報の提供に努めた。 ・瑞草区との10年アクション・プログラムに基づき、事業(平和ポスター/絵画コンクール合同展示会、共同冊子の作成、中高校生交流会)を着実に実施した。 ・平成17年度は、ウイロピー市友好提携15周年記念事業(ウイロピー市代表団の受け入れ、記念式典の開催等)を行うため、予算が増額している。									

## 平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	国際化が進み、海外へ出かける人・日本を訪れる外国人ともに増加。特に近年の韓流ブームにより、韓国を訪れる人や興味を持つ人が増えている。杉並区文化・交流協会の設立(交流係で国際交流事業を展開)。在留外国人は区内で1万人を超え、国籍も90カ国以上と多様化。国際交流事業を行うNPO、ボランティア団体の増加
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	次世代に続く交流をしてほしい。友好都市についてPRが不足している。民間団体中心で区や文化・交流協会が支援する形での交流を進めるのがよい。交流についての情報提供。
	今後の予測	ボランティア団体、NPOを中心とした交流が進む。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由 )	理由: 友好都市との提携により、定期的・継続的に他都市との住民との交流機会を作り出している。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容:  理由または具体的内容: 瑞草区との10年アクション・プログラムの事業内容を具体化する際、関係部署と十分に打ち合わせを行い、内容の充実に努める。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容 )	理由または具体的内容: 中高校生交流会における派遣では、一部自己負担を実施している。
	(4) コストを下げる余地はあるか ある[手段・方法の変更](具体的内容 )	理由または具体的内容: 友好都市への職員派遣については、最低限の人数とし、可能であれば泊数を減らす。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ ) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体( ^ ) 協働等の形態 協働[補助・助成](具体的内容 )	理由:  理由または具体的内容: 文化・交流協会に補助金を交付し、国際交流事業(主に民間交流)を実施してもらっている。
	(6) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体( ^ ) 協働等の形態 協働[補助・助成](具体的内容 )	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み 補助金助成を行う。

今後の事業のあり方(中長期)	<b>成果:</b> <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	<b>コスト:</b> <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 国際交流に関しては、情報収集・提供に努め、区民の自主的な交流活動を促進していく。友好都市について資料・情報をそろえ、区民に提供・閲覧ができるようにする。2012年まで瑞草区とは10年アクション・プログラムに基づき交流を進めていく。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 区民の派遣・受入に関しては、国際情勢を見ながら対応していく必要がある。また、杉並区だけでは事業内容を決められないので、交流都市との協議が必要となる。	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性	<input checked="" type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	18年度は瑞草区との提携15周年にあたり、瑞草区で開催の記念式典に出席する代表団派遣等の経費が見込まれる。同じく18年度は日豪交流年にあたり、ウィロビー市との交流事業が見込まれているため。

# 平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名			国内交流の推進				整理番号	121		枝番号		
担当部課名			区民生活部文化・交流課		コード	051201		連絡先電話番号	2283		昨年度整理番号	122
係名							上位施策名		No			
予算事業名			文化・交流の推進		コード	12050		交流と平和の推進		68		
事務事業の概要	事業開始年度			○ 昭和 ● 平成		1 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	事業の種類			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等						
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(1) 杉並区・吾妻町友好協定 (2) 杉並区・風連町交流協定 (3)						
	区内在住・在学・在勤			事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			杉並区民等が、文化・スポーツをはじめさまざまな分野で、友好都市等の住民と交流する機会が増える。								
	活動指標名(式)			成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標								
(1) 友好都市訪問者数・来訪者数			(1) 友好都市との交流事業参加者数									
(2) 国内他自治体との交流機会提供数			(2) 国内交流事業参加者数									
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%			
					計画	実績						
指標	活動指標(1)		人	359	383	340	360	348	450	80.0		
	活動指標(2)		回	21	16	13	14	15	10	140.0		
	成果指標(1)		人	384	443	435	714	435	800	89.3		
	成果指標(2)		人	1,886	3,211	1,250	2,252	1,250	2,000	112.6		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	542	533	1,211	829	1,286	<b>特記事項</b> <small>(指標、事業費等の変化の理由など)</small> 他課・他団体の交流事業も指標に含む。			
	(内)委託費		千円									
	職員数(常勤   非常勤)		人	0.86	0.73	0.75	0.86	0.75				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	7,811	6,566	6,825	7,826	6,825				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 + +		千円	8,353	7,099	8,036	8,655	8,111				
	単位あたりコスト ÷		円	23,267	18,535	23,635	24,042	23,307				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0	
差引:一般財源 -		千円	8,353	7,099	8,036	8,655	8,111					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%	105.9	活動指標(2)の16年度達成率%	107.7	16年度予算執行率%	68.5	訪問者・来訪者数は予想より増加したが、予算の執行を必要としないものが多かったため、執行率が低かった。				
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		・友好都市紹介リーフレットを作成し、新しい情報の提供に努めた。 ・文化・交流協会が運営するコミュかるショップにおいて、平成16年度から交流の始まった新潟県小千谷市、福島県北塩原村の物産販売を開始し、交流自治体のPRを行った。										

## 平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	吾妻町・風連町で開催されるまつりへの阿波踊り訪問団派遣事業は、13年度から杉並区文化・交流協会へ移管。新潟県小千谷市との「災害時相互援助協定」の締結により都市間の交流が始まり、共催事業を定期定期に行っている。福島県北塩原村との「まるごと保養地協定」の締結により、コミュかるショップで特産物の販売を開始した。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	小中学生交流や自然体験などの教育分野、物産展や特産物のあつ旋などの産業・経済分野、保養地などの観光分野での交流を進めてほしい。
	今後の予測	小千谷市や北塩原村のように、友好都市協定ではなく特定分野での協定を締結し交流が始まる自治体が増えると予想される。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由 )	理由: 友好都市との提携により、定期的・継続的に他都市との住民との交流機会を作り出している。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 対象の拡大(具体的内容 )	理由または具体的内容:  理由または具体的内容: 特定分野での協定を結び、対象(交流を図る自治体)を増やすことは可能である。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 代表団は受益者に該当しないため。
	(4) コストを下げる余地はあるか ある[手段・方法の変更](具体的内容 )	理由または具体的内容: 友好都市等への出張については、可能であれば泊数を減らす。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ ) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体( ^ ) 協働等の形態 協働[補助・助成](具体的内容 )	理由:  理由または具体的内容: 文化・交流協会に補助金を交付し、国内交流事業の一部を実施してもらっている。
	(6) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体( ^ ) 協働等の形態 協働[補助・助成](具体的内容 )	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み 補助金助成を行う。

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 文化・交流協会が運営するコミュかるショップでの、友好都市等の物産販売に併せた友好都市等のPRの拡充を図る。経済交流について調整を図り、物産販売等区民を中心とした交流が進むようにする。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 杉並区だけでは事業内容を決められないので、他都市との協議が必要。	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	事業内容は、17年度並と予想されるため。

# 平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		平和都市宣言関連事業の推進				整理番号	122		枝番号		
担当部課名		区民生活部文化・交流課		コード	051201	連絡先電話番号	2286		昨年度整理番号	123	
係名					男女共同参画推進担当			上位施策名		No	
予算事業名					平和事業の推進			コード		11750	
					交流と平和の推進					68	
事務事業の概要	事業開始年度				○ 昭和 ● 平成		1 年度				
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		根拠法令等 (1) 杉並区平和都市宣言 (2) (3)				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				平和のつどいや平和ポスター・コンクール、展示などの開催による平和都市宣言の趣旨の普及・啓発 非核宣言自治体協議会の加入・全国大会への参加による自治体間の連携 核実験等に対する抗議文の送付						
	活動指標名(式)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 区民一人ひとりが、戦争の悲惨さ、平和の尊さに対する認識を深めることにより、世界の恒久平和に寄与する。						
				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 平和のつどい参加者のうち初めて宣言を知った人 ÷ 全参加者数 (2) 平和のつどい参加者のうち戦後生まれの人 ÷ 全参加者数							
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%		
					計画	実績					
指標	活動指標(1)		人	350	1,879	500	1,203	500	500	240.6	
	活動指標(2)		人	409	475	400	543	550	550	98.7	
	成果指標(1)		%	37	51	50	58	50	50	115.6	
	成果指標(2)		%	35	35	60	60	60	65	92.9	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,788	5,292	3,206	3,061	2,403	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)委託費		千円	242	2,604	910	909	242			
	職員数(常勤   非常勤)		人	0.60	0.89	0.90	0.85	0.90			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	5,450	8,005	8,190	7,735	8,190			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +		千円	7,238	13,297	11,396	10,796	10,593			
	単位あたりコスト ÷		円	20,680	7,077	22,792	8,974	21,186			
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0			0
		国・都等からの支出金		千円	0	0	0	0			0
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0
差引:一般財源 -		千円	7,238	13,297	11,396	10,796	10,593				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の16年度達成率%	240.6	活動指標(2)の16年度達成率%	135.8	16年度予算執行率%	95.5			
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			8月の平和のつどいで「現代の脅威 - テロリズム展」を開催した。テロ事件の脅威を伝える実物資料の展示を始め、戦争被害を伝える写真等の展示、日本の国際平和活動への協力の紹介を通して、より多くの世代の区民が現代の平和への関心を高められるようにした。 17年度は“世界の平和のために何が必要であるか”を考えられるような講演会を開催する。								

# 平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	世界と日本の平和をめぐる状況が変わってきている。国連で開かれた核不拡散条約(NPT)の再検討会議が事実上決裂した中で、国際社会における核保有・核拡散が大きく懸念されている。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	平和のつどいに対し「日本の戦争被害のほか加害状況についても取り上げる必要がある」「いたずらに脅威を煽る」という意見がある。
	今後の予測	日本の国連の中での役割の変化や国際平和への積極的な協力について、国民の議論が深まる。戦争体験者の高齢化が進み、戦争の悲惨さや平和の尊さを伝えていく区の役割と責任は重くなる。区が、平和事業を進めていく重要性は増大していく。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: 世界の恒久平和に対する区民の意識を直接高める事業を実施している。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 趣味や文化活動とは異なり、平和意識の啓発には、受益者負担は適さない。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容: 現在も、必要最低限の経費で行っている。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ ) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ ) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容 )	理由:  理由または具体的内容: 平和ポスターの募集にあたり、杉並ユネスコ協会と協力して、平和学習への支援やポスターコンクールを行っている。
	(6) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ ) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容 )	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み 区が所有する戦災写真パネルを積極的に貸し出し、展示会等の開催を支援していく。

今後の事業のあり方(中長期)	<b>成果:</b> <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	<b>コスト:</b> <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 平和のつどいは、平和の尊さや戦争の悲惨さを伝え、平和に対する現代的な課題を取り上げ、戦後世代も含めた多くの世代が平和への関心を高められるような事業を行う。区内のNPOや地域団体等を支援し、展示会等が実施できるようにする。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 世界と日本の平和をめぐる状況を常に把握し、平和のつどい等に事業化していくための調査・研究を重ねていく。地域で平和事業が行われるように、他の部署と連携を図っていく。	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	平年予算とする。

# 平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		国内交流事業				整理番号	436		枝番号				
担当部課名		保健福祉部児童青少年センター		コード	094401		連絡先電話番号	4402		昨年度整理番号	446		
係名 事業係				上位施策名				No					
予算事業名 児童健全育成事業				コード				交流と平和の推進				68	
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成				1 年度				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等								
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(1) 杉並区都市交流実施要領								
	区内在住の 小学4年生～6年生(吾妻30名、風連25名) 中学生(風連25名)				(2)								
					(3)								
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)									
風連、吾妻両友好都市の児童とともに、班ごとの交流活動、町内探索等のプログラムを実施する。				子どもどうしの交流をとおして、友好都市の文化、生活、風土等の理解を深めることにより、児童の健全育成を図る。									
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標									
(1) 参加者数				(1) 応募者数									
(2)				(2)									
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%				
					計画	実績							
指標	活動指標(1)		人	54	75	55	51	70	70	72.9			
	活動指標(2)												
	成果指標(1)		人	69	91	60	56	90	90	62.2			
	成果指標(2)												
総事業費・コスト把握	事業費		千円	2,914	4,691	3,025	2,604	5,295	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)				
	(内)委託費		千円	0	0	0	0	0					
	職員数(常勤 非常勤)		人	1.20	0.00	1.20	0.00	1.20			0.00	1.20	0.00
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	10,900	10,793	10,920	10,920			10,920		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0			0		
	総事業費 ++		千円	13,814	15,484	13,945	13,524	16,215					
	単位あたりコスト ÷		円	255,815	206,453	253,545	265,176	231,643					
	財源	受益者負担分		千円									
		国・都等からの支出金		千円									
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0		
差引:一般財源 -		千円	13,814	15,484	13,945	13,524	16,215						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%	92.7	活動指標(2)の16年度達成率%		16年度予算執行率%	86.1	風連交流会について、杉並区実施の内容で、杉並区内各所を巡るプログラムを多く取り入れることで事業本来の趣旨を追求するとともに、移動に伴う経費を削減する工夫をした。					
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		吾妻交流会について、吾妻実施の年に当り、先方と協議の結果、経費の削減が可能との見込みが立ったため減額して実施した。											

## 平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成12年度以降、吾妻交流会が2年越しでの相互交流となったため、とくに杉並区実施の年(15年、17年)は魅力に欠けるためか応募者・参加者ともに少ない。また、風連の中学生交流も、14年度以降隔年実施(15年、17年実施)となっている。さらに、参加者の状況を見ると、冬の風連交流会において、風連町側の中学生の参加が減少傾向にあり(15年度杉並24名に対し10名)、相互交流の観点から課題となっている。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	小学生の交流については、概ね「よい経験になった」「町と町の交流は貴重」と、前向きな評価と事業継続への期待が寄せられている。
	今後の予測	以前に参加経験のある子どもが再び応募するケースが徐々に増えてきている。この傾向は、風連町、吾妻町にも同様にあり、今後も続くことが予想される。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由 )	理由: キャンプ等通常の野外活動と異なり、他都市の子どもどうしが生活体験を共有する事業は他に見られない。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 その他(具体的内容 )	理由または具体的内容:  理由または具体的内容: 町散策や人的交流を拡充するプログラムの工夫により事業効果をある程度拡大できると思われる。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 参加費を拡大することによる参加者離れが懸念されるため。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容:
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)(具体的内容 ) 協働等の相手 協働等の形態	理由: 都市間交流事業として住民レベルでのかわりをすすめる意義は大きい。小・中学生の相互交流という現在の事業の性格からすると、双方の体制を整備するには、事業の位置付けそのもの見直しが必要と考える。  理由または具体的内容:
	(6) 協働等の相手 協働等の形態	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み

今後の事業のあり方(中長期)	<b>成果:</b> <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	<b>コスト:</b> <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 応募状況の低迷化傾向が続くと思われる。参加者の重複や固定化を避けるためのPR方法の見直しとともに、プログラム内容の一層の工夫が求められる。一方、吾妻交流会の杉並区実施について、また、冬の中学生交流については、双方の参加者のバランスがとれるような工夫が必要である。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 風連町側と、今後のあり方について十分に協議する。	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	
	(2) 理由 対象者の事業離れに配慮しつつも、受益者負担を一部見直すことで既定経費の削減を図る方向を、先方自治体と協議する。	